

SDGsステークホルダーズ・ミーティング

持続可能な農業を目指すCSV活動

～2050年の持続可能な生物資源の利用に向けて～

KIRIN


2018年3月15日

キリン株式会社
執行役員
CSV戦略部長
林田 昌也



本日の内容

1. キリングループの概要
2. キリングループのCSV
3. 環境への取り組み ～キリングループ長期環境ビジョン～
4. 生物資源 ～原料生産地のサステナビリティを目指す～
5. 社会価値ブランディング



1. キリングループの概要

会社概要

商号	キリンホールディングス株式会社
創業	1907年(明治40年)2月23日 ※2007年7月1日持株会社化に伴い「麒麟麦酒株式会社」より商号変更
本社所在地	〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
資本金・従業員	102,045百万円 39,733人 (2016年12月末現在)

日本総合飲料事業

➤ キリン(株)

- ・キリンビール
- ・キリンビバレッジ
- ・メルシャン

Mercian

及びグループ会社各社

海外総合飲料事業

- ライオン(オーストラリア)
- マンマーブルフリー
- キリンホールディングス シンガポール
- サンミゲルビール(フィリピン)
- 華潤麒麟飲料(中国) etc...

医薬・バイオケミカル事業他

- 協和発酵キリン
- 協和発酵バイオ

- 小岩井乳業 etc...





2. キリングループのCSV



社会課題への取り組みを通じた価値創造

Creating Shared Value

「（企業が社会と）共有できる価値の創造」



「社会課題への取り組みによる社会的価値の創造」と、
「経済的価値の創造」の両立により
企業の成長を実現させる経営コンセプトです

* 2011年にハーバード大学経営大学院のM・E・ポーター教授が提唱

新キリン・グループ・ビジョン2021（新KV2021）

グループ
経営理念

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げていきます。

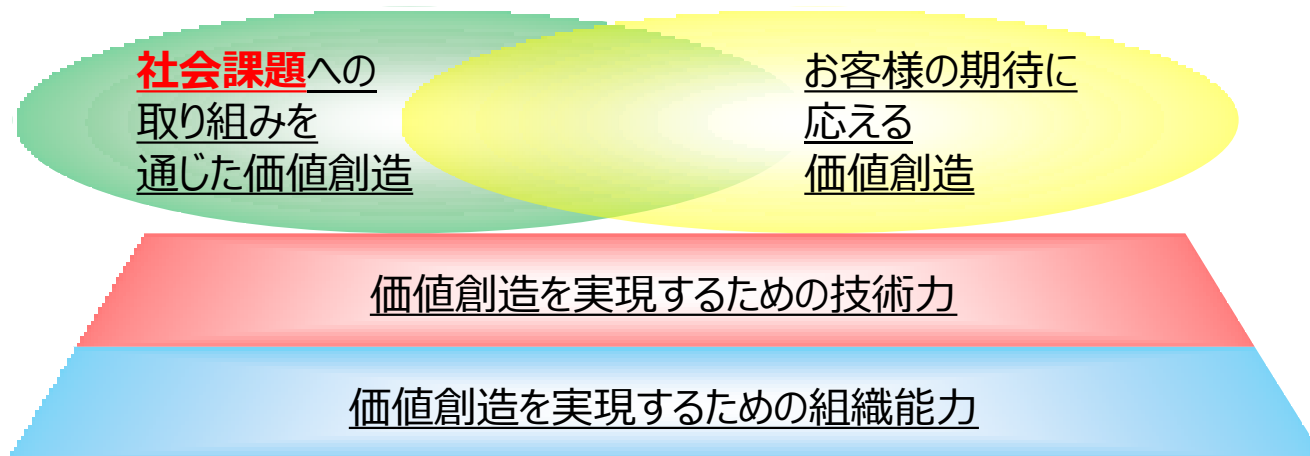
2021
Vision

酒類、飲料、医薬・バイオケミカルを中核としたキリングループの事業を通じて社会課題に向き合い、お客様を理解して、新しい価値を創造することで、社会とともに持続的に成長する

経営成果

経済的価値の創造 ・ 社会的価値の創造
(財務目標・非財務目標を各中計で設定)

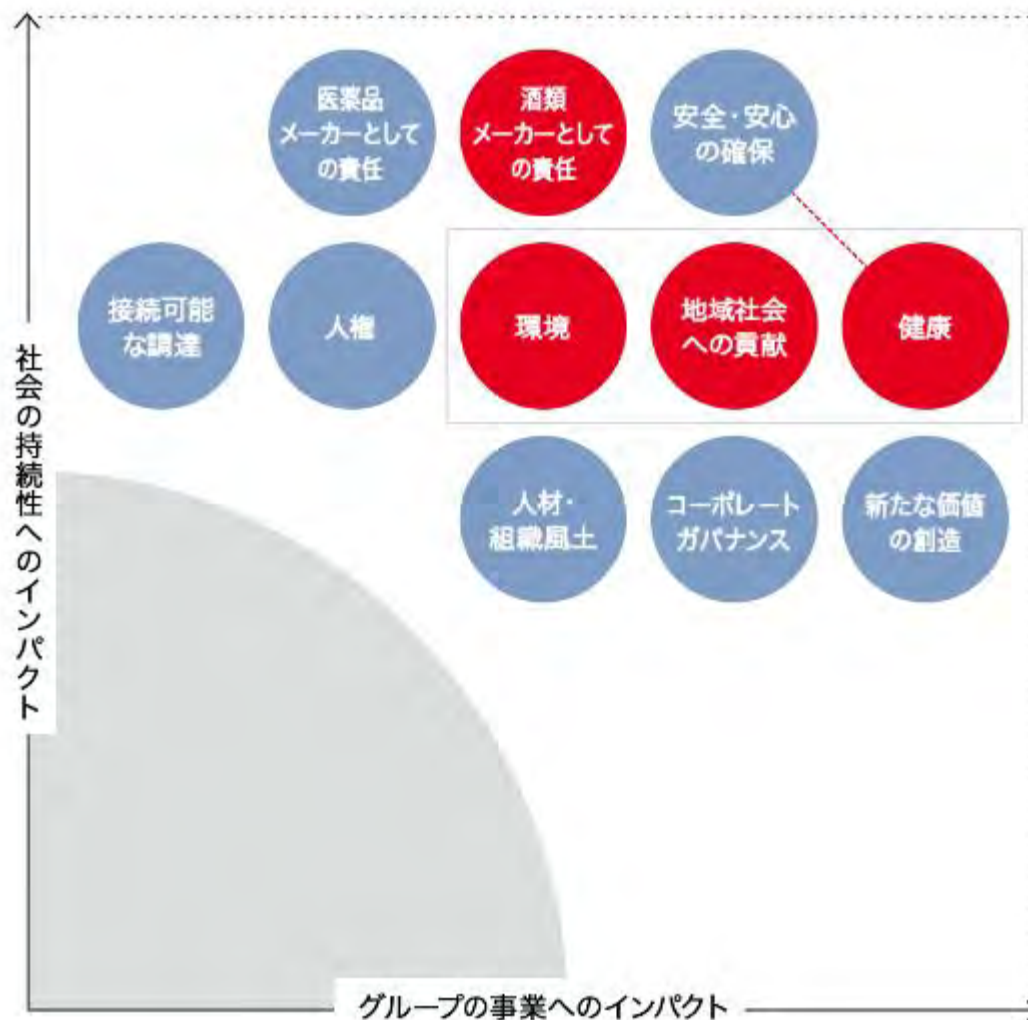
価値創造
に向けた
戦略の
枠組み
(**ニキリン
グループ
ならではの
DCSV**)



“One Kirin” Values

熱意 と 誠意 “Passion and Integrity”

キリングroupが取り組む重点課題



SDGs目標

目標 1 : 貧困の解消
 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

目標 2 : 飢餓をなくすこと
 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

目標 3 : 健康と福祉の推進
 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

目標 4 : 質の高い教育の普及
 すべての人々への包摂的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

目標 5 : ジェンダーの平等
 ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女性および女性への平等を行う

目標 6 : きれいな水と衛生へのアクセス
 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標 7 : 持続可能なエネルギーの確保
 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する

目標 8 : ジェロントワーク (働きながらある人助けの活動)
 包摂的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とジェロントワークを促進する

目標 9 : インフラ技術革新への投資
 レジリエントなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る

目標 10 : 格差の是正
 各国内および各国間の不平等を是正する

目標 11 : 持続可能な都市
 包摂的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を促進する

目標 12 : 責任ある生産と消費
 持続可能な生産消費形態を確保する

目標 13 : 気候変動への緊急対応
 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 14 : 海洋資源の保全
 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する

目標 15 : 森林その他の生態系の保全
 地域生態系の保護-回復-持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対応、ならびに土地劣化の防止-防止および生物多様性の損失の防止を促進する

目標 16 : 平和と正義の推進
 持続可能な開発のための平和と包摂的な社会の促進、すべての人々の司法へのアクセス確保、および紛争の公平な解決に向けた効果的かつ透明性の高い包摂的な制度の構築を図る

目標 17 : グローバルパートナーシップの強化
 持続可能な開発のための実施手段の強化し、グローバルパートナーシップの発展を促進する

		SDGs																		
		1 貧困の解消	2 飢餓をなくすこと	3 健康と福祉の推進	4 質の高い教育の普及	5 ジェンダーの平等	6 きれいな水と衛生へのアクセス	7 持続可能なエネルギーの確保	8 持続可能な経済成長	9 インフラ技術革新への投資	10 格差の是正	11 持続可能な都市	12 責任ある生産と消費	13 気候変動への緊急対応	14 海洋資源の保全	15 森林その他の生態系の保全	16 平和と正義の推進	17 グローバルパートナーシップの強化		
重点テーマ	健康		◎	◎										◎						
	地域社会への貢献		◎											◎						
	環境		○							◎			○	○		○	◎	◎	○	◎

CSVコミットメント 要旨

- 中核事業と関連が深い「健康」「地域社会への貢献」「環境」をCSV重点課題に設定しました。これらの領域で社会課題に主体的に取り組んでイノベーションを生み出し、新KV2021に掲げる持続的成長を具現化していきます。

キリングroupは、「健康」「地域社会」「環境」という3つの社会課題に取り組み、お客様と共に幸せな未来をめざしていきます。

テーマ、主な社会課題

目指すべき成果（例）



酒類メーカーとしての責任

- アルコールの有害摂取

- グループ横断の啓発プログラム整備
- ノン・低アルコール商品の拡充 ほか



健康

- 生活習慣病の増加、医療費の増大
- 食の安全・安心への脅威 ほか

- 健康・未病領域の新たな商品、サービス、事業の立ち上げ ほか



地域社会への貢献

- 地域経済・社会の衰退
- 原料生産者の持続可能性

- 地域の人々と一緒につくった商品・サービスの拡大
- 生産者支援による地域活性化 ほか



環境

- 地球温暖化、水資源や生態系の危機、容器包装による環境負荷拡大

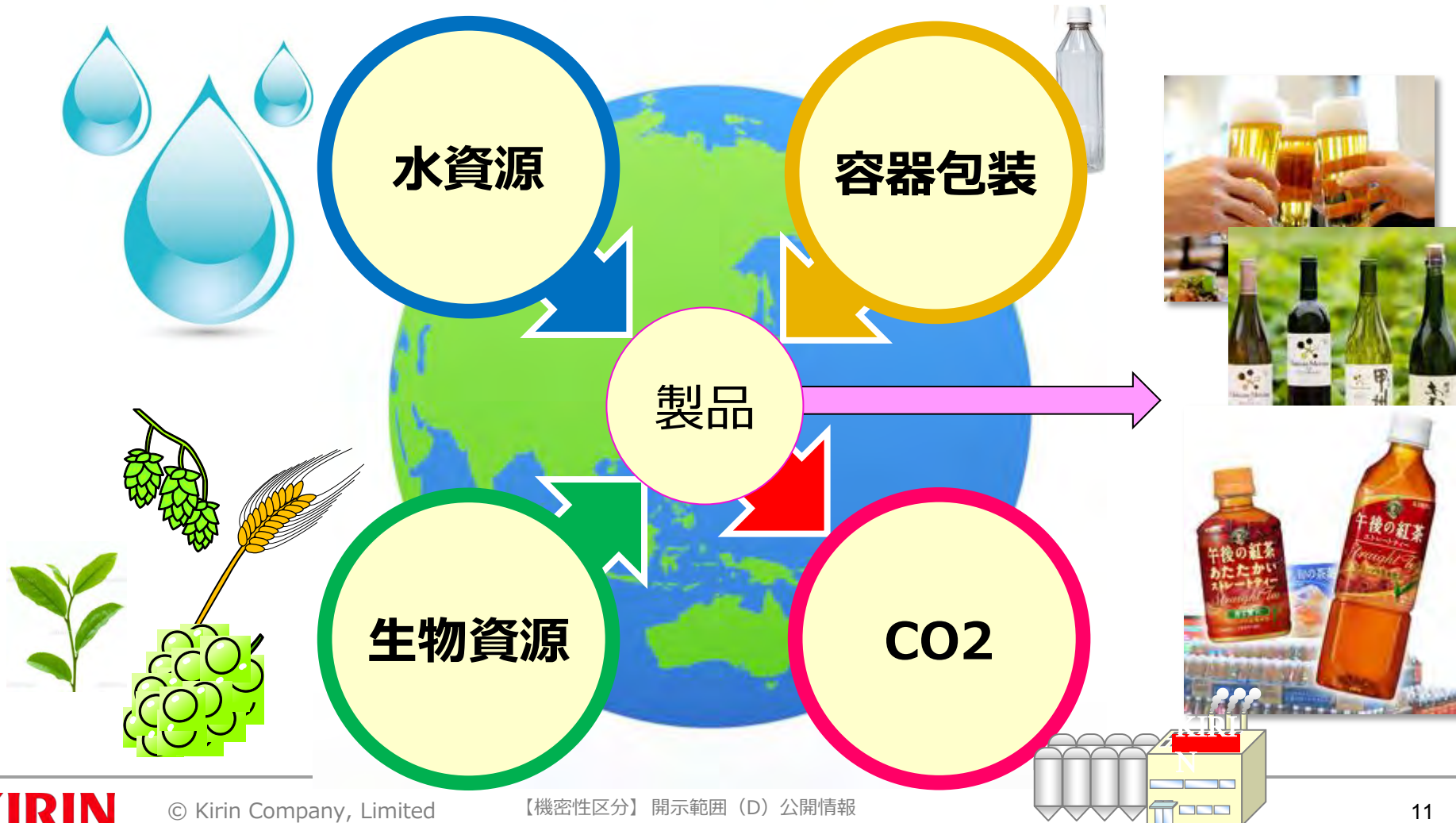
- 再生可能エネルギー比率向上による温室効果ガスのさらなる削減
- 認証原材料の使用拡大 ほか



3. 環境への取り組み ～キリングroup長期環境ビジョン～

キリングroup長期環境ビジョン

資源循環100%社会の実現



環境のCSVコミットメント

水資源

- 水使用量の削減
(2030年で2015年比30%削減)
(医薬・バイオケミカル事業)
- 「水源の森活動」ほか
水源地保全継続



容器包装

- ボトルtoボトルの維持・拡大
- FSC®認証紙使用紙容器(1次/2次容器)の使用維持・拡大
- 2030年までに容器材料のリサイクル性を 90%以上に向上(ライオン)
- 2030年までに容器包装資材のリサイクル材料比率を 50%以上に向上(ライオン)

生物資源

- スリランカの農園の持続性向上
- 日本の農地における生物多様性の確保

生産地の活性化



地球温暖化

- SBTによるGHG削減中期目標の達成に向けた 取り組みの実施
- 再生可能エネルギー比率の向上
(2017年に定量目標を設定)

生物資源への取り組み



生物資源

- 人と自然が共生する豊かな生態系の保全という観点と、持続可能な生物資源の利用という事業ニーズの観点で、「生物資源」のリスクを評価し、行動計画を定めて取り組んでいます。



日本産ホップの70%をキリンが使用
遠野市のホップ畑が里地里山へ寄与していることを明らかにすることで、国産ホップの価値化、生産の維持、および遠野の活性化に寄与していきます。



遠野市
ホップ



ブドウ畑の草原としての価値

日本ワインのためのブドウ畑が拡大する中で、ブドウ畑が希少種を守るための草原の機能を果たしていることを、生態系の専門家の共同研究で明らかにしつつあります。



上田市マリコ・
ヴィンヤード
ブドウ





持続可能な農園認証制度

日本がスリランカから輸入している約40%の「午後の紅茶」が使用しています。キリンの基準を超える農園が持続可能な農園認証制度と農園の人々にやさしい茶葉栽培に取り組んでいます。



スリランカ
紅茶葉

- 
-
- 
- 4. 生物資源 ～原料生産地のサステナビリティを目指す～
 - ①スリランカ紅茶農園への持続可能な農園認証制度取得支援

紅茶葉の調達状況

日本に輸入されるスリランカ産茶葉の、実に約4割を使用しています。

日本が輸入する
紅茶葉の産地の割合



輸入スリランカ産
紅茶葉の使用先



持続可能な農園認証取得支援の仕組み

スリランカの紅茶園がレインフォレスト・アライアンス認証を取得するためのトレーニング費用の支援を行っています（2013年～）

- 認証制度が、農園の持続性を向上させます。
- 持続可能な農園が増えることが、持続可能な調達を可能にします。



レインフォレスト・アライアンス支援による価値創造



キリンの価値 高品質茶葉の 安定調達

社会の価値

はたらく

“はたらく”人々のために、安定した収入の確保や子どもの教育、衛生面の向上を行います。

労働者保護：

- 児童労働の禁止
- 適正な賃金
- 快適な住居の提供等

まもる

自然環境を“まもる”ために、森林・土壌・水源の維持、生態系・野生生物の保護を行います。

環境保全：

- 野生生物捕獲禁止
- 森林伐採禁止
- 排水の浄化 等



つづける

自立した農園経営を“つづける”ために、生産物の収穫量や品質の向上など農業レベルを上げます。

農業指導：

- 農薬削減
- 収穫UP
- 品質向上 等
(焼き畑農業を防ぐ)

認証取得実績

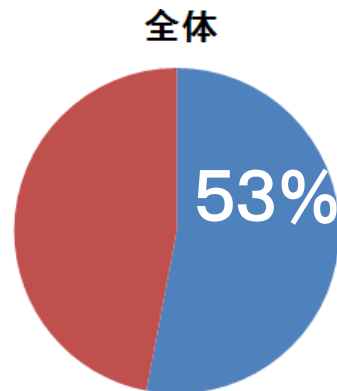
2017年末で、調達先農園に占める持続可能な農園数比率は約50%程度まで到達している。2018年からは3年計画で新たな活動も開始している。



スリランカ全体での
認証農園数



調達先に占める持続性の高い農園比率



2018年からの取り組み

- **小農園支援開始**
約7,750の小農園の認証取得支援を開始
- **農園の中の水源地保全開始**
5か所の水源地保全を開始
約15,000人に水の大切さを教える教育プログラムを実施

※ 調達先農園のうちの「持続性の高い農園」には、キリンの支援で認証取得した農園の他に、独自または他の国際機関等の支援を受けて認証を取得した農園が含まれます。

4. 生物資源 ～原料生産地のサステナビリティを目指す～
- ②上田市椀子（マリコ）ヴィンヤード生態系調査・植生再生活動



「第6回いきものにぎわい企業活動コンテスト」で「審査員特別賞」を受賞！

上田市 梔子（マリコ）ヴィンヤード



ブドウ

遊休荒廃地を地元と行政の協力を得て、20haのブドウ畑に再生したものです。
ここで作られたブドウを使ったワインは、世界的な賞を多数受賞しています。



オムニス



※ 2003年に開圃。2019年に「シャトー・メルシャン梔子ワイナリー」を新設予定。

2018年活動方針 キリンのCSVとシャトー・メルシャン

シャトー・メルシャン事業を中心とした地域社会への貢献

人と人・人と社会のつながり、地域社会・経済の活性化



梔子（マリコ）ヴィンヤード ～ブドウ畑内での希少種の発見～

農研機構・農業環境変動研究センターと共同でブドウ畑の生態系調査を実施。
ブドウ畑の中（エッジ部）で、絶滅危惧種の昆虫や植生を多数発見しました。

植物：野生植物258種、植栽種30種

ブドウ畑で見つかった植物・生きもの



クララ/ユウスゲ（キスゲ）/メハジキ/スズサイコ

植生

288
種類

昆虫

168
種類

昆虫：8目64科168種



ベニモンマダラ/ウラギンスジヒョウモン

- ※ウラギンスジヒョウモンは環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（長野県の準絶滅危惧種）、ベニモンマダラは環境省と長野県のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されている。
- ※メハジキ、ユウスゲ（キスゲ）は長野県のレッドリストで準絶滅危惧種、スズサイコは環境省ならびに長野県のレッドリストで準絶滅危惧種に指定されている。クララは環境省のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類（長野県の絶滅危惧ⅠB類）であるオオルリシジミの唯一の食草。

椀子（マリコ）ヴィンヤード ～生態系が豊かな理由～

垣根栽培のブドウ畑は下草管理のために年に数回下草刈りを行います。このことで、日本ワインのためのブドウ畑が**広大で良質な草原**を構成しているのです。



下草刈により良質な草原を構成

1haあたりの絶滅危惧植物

絶滅危惧植物の単位面積当たりの数は、草原が森林より遥かに大きいといえますが、草原面積は激減しています。



森林 農地 湿地 草原 海浜

梔子（マリコ）ヴィンヤード ～希少種・在来種植生再生活動～

希少種が見つかったことを受けて、ブドウ畑の中で植生再生活動を開始しました。ビートルバンクとして機能し、より生態系が豊かなブドウ畑になることを期待しています。



ブドウ畑の中の再生予定地の草刈りから開始です。



次に希少種が植わっていた場所へ移動。



これら希少な植物や在来種の枯草を刈り取って集めます。



集めた枯草はブルーシートに集めます。



ある程度集まったら、再生場所まで運んで蒔きます。



来年、芽を出してくれれば植生が再生されたこととなります。



スズメノチャヒキ





クサフジ

定着した
在来種

その他、カワラマツバ、ススキ、チガヤ、コウゾリナ、カラマツバ、スミレ、も定着

※ビートルバンク：昆虫たちが捕食や移動に利用する緑地帯

- 
- 
4. 生物資源 ～原料生産地のサステナビリティを目指す～
- ③遠野ホップ畑 生きもの調査
 - ④紙製容器包装へのFSC認証採用100%の挑戦

遠野とキリンが共に抱える課題



背景にあるもの

ホップ生産者と生産量の減少

【遠野市ホップ生産ピーク時】

※遠野市調べ

- ・生産者数 昭和49年度 239戸
- ・作付面積 昭和58年度頃 112ha
- ・生産量 昭和62年度 229t

【遠野市平成24年のホップ生産状況】

- ・生産者数 平成24年度 46戸
- ・作付面積 平成24年度 34ha
- ・生産量 平成24年度 62t

※平成28年度の生産者数は35戸と減少し続けている。

しかし、現在の遠野のホップ生産量はピーク時の4分の1※
 このまま手を打たなければ近い将来、国産ホップを使用したビールが飲めなくなる危機に直面しています。

※2015年時点

遠野の大切な農産物「ホップ」を守りたい

食とビールで遠野を元気にしたい

平成19年～TK(遠野×キリン)プロジェクト
 遠野産ホップや遠野の食材をPRする活動を展開

遠野とキリンの解決策 ホップの里からビールの里へ

遠野の重要資源であるホップを最大限活用した街づくり

Tono Beer Experience

TKプロジェクトが目指す50年後の遠野の未来へつながる街づくり

「ホップの里」から「ビールの里」へ

TONO BEER EXPERIENCE

遠野の食を
ビールで
ひとつに



ビールの里となるべく
遠野産ホップの価値を最大化



ビアツーリズム



遠野ホップ収穫祭

遠野ホップ畑 ～生きもの調査～

防風林と下草が多様な生きものを育んでいることを確認しました。
遠野市の小学生を招いた「生きもの観察会」も実施しています。

ホップ畑で見つかった生きもの



ホップを守るために整備した防風林、地面の乾燥を防ぐための下草に多様な生きものが生息しています。

紙製容器包装 ～2020年末までにすべてでFSC認証紙採用～

種別	目標	目標年	達成率（2017年10月末現在）	
			FSC認証紙比率	FSCラベル付与比率
6缶パック	100%	2020年末	約90%	約10%
ギフト箱	100%	2020年末	100%	約25%
紙パック	100%	2017年末	約80%	約40%
製品用段ボール箱	100%	2020年末	2018年春から対応予定	

※ ビール6缶パックは135mlを除くすべてがFSC認証紙。飲料6缶パックはFSC化比率70%。





5. 社会価値ブランディング

社会価値ブランディング - マーケティングの変化とキリン -

- マーケティングも時代や市場の変化に伴い変遷しています。
- CSVは、社会を良くする商品をお客様と共創するというブランド構築の課題と重なります。

※「製品中心のマーケティング1.0、消費者中心のマーケティング2.0に対し、人間中心のマーケティング3.0は利益とCSRが両立する段階であり、実践する企業は大きなビジョンや価値観を持ち、世界をよりよい場所にすることをめざしている」（コトラー）

ブランド価値のありかたの変遷

↓
パラダイムシフトがある
当然と考えられていた価値が変わる

社会的価値・・・顧客志向から社会志向へ

価値共創・・・企業主語からお客様主語へ

経験的な価値・・・モノからコトへ

感性的、象徴的な価値・・・モノづくりから価値づくりへ

機能的な価値・・・カテゴリー創造



キリングroup 私たちのCSVストーリー

キリングroupは、
「健康」「地域社会」「環境」という
3つの社会課題に取り組み、お客様と共に
幸せな未来をめざしていきます。



私たちは、誰よりも情熱をもって真摯にお客様のことを考えながら、「健康」「地域社会」「環境」という3つの社会課題に取り組み、人々が豊かな地域社会のなかで自然の恵みを楽しみ健康に過ごせる幸せな未来をめざします。その想いを従業員全員が共有し、日々の仕事の中で発想の転換や創意工夫をしながらワクワクする価値をお客様と共に創ることで、キリングroupは未来にわたって成長し続けます。



KIRIN

「飲みもの」を進化させることで、
「みんなの日常」をあたらしくしていく。

